

麻痺の後遺症がある人は、いろいろな面で苦労されていました。その後私の友人は、高校の教師になりました。みんな頑張って生きてきましたが、同じ一生であるのに友人にとってのハンデは、私のそれとは、計り知れないものがあると思います。

ロータリーは、過去35年以上にわたりポリオ根絶活動を行ってきました。ポリオを世界からなくすという私たちの目標は今、達成まで本当にあと少しのところに来ています。しかし、今、ポリオの根絶活動を止めると、10年の間に毎年、身体麻痺の子供が20万人になると予測されています。

私も本日の卓話をよく理解し、私の友人のように、身体麻痺が子供に発症しない世界に微力ながら協力したいと思います。

幹事報告 黒坂 毅 幹事

- ①10月23日例会の卓話に変更となっております。
- ②10月のロータリーレートは1ドル149円です。

委員会報告

親睦活動委員会 土屋 大輔 委員長

会員誕生日	北砂 明彦 君	10月18日
結婚記念日	土屋 大輔 君	10月10日
入会記念日	入江 公敏 君	10月13日



卓話

「世界ポリオデー」

2013～2014年度ガバナー

相澤 光春 様(ふじさわ湘南RC)

世界ポリオデー

世界ポリオデーの10月24日は、ポリオワクチンの開発者である米国医学者ジョナス・ソーク博士の誕生日を記念するもので、ポリオ根絶を目指す国際ロータリーが設立しました。ソーク博士がポリオワクチンを開発したのは1952年、ソーク博士は1914年10月24日に生まれました。



ポリオ(急性灰白髄炎・きゅうせいはいくわいはくざいえん)

急性灰白髄炎はポリオ (Polio) と呼ばれ、ピコルナウイルス科、エンテロウイルス属のポリオウイルスによって発症するウイルス感染症のこと。

ポリオはPolio myelitis (ポリオマイエライティス) の略。ポリオウイルスが原因で、脊髄の灰白質が炎症を起こす。

はじめは数日間は発熱のような症状があらわれるが、その後1%以下の確率でウイルスに左右対称性の増殖性麻痺(下肢に多い)を呈する病状。



ポリオウイルスの電子顕微鏡写真 (複製・200x)

ポリオ根絶活動は

1985年、ロータリーは「ポリオプラス」プログラムを立ち上げに始まり国連児童基金 (UNICEF)、世界保健機関 (WHO)、米国家際児童センター (NIC)、ビル&メリнда・ゲイツ財団、GAVIとのパートナーならびに各国政府がサポートする世界ポリオ根絶推進活動 (GPEI)へと発展しました。

パートナー団体、各国政府、世界中のコミュニティと協力し25億人以上の子どもたちに予防接種をしてきております。

ポリオ根絶へ

世界保健機関は1988年ポリオを世界から根絶する決議を採択、WHO・ユニセフ・CDC・R・Iが同盟。その後、ビル&メリнда・ゲイツ財団、2019年にGAVI THE VACCINE ALLIANCE がパートナーとなりました。各国政府がサポートする「世界ポリオ根絶推進活動 (GPEI)」でWHOは中心的な役割を担ってきております。ポリオ根絶という歴史的な取り組みも、国境と世代を超え、ロータリアン同士の連帯・他団体との協働、全世界の子供達との約束を果たすべく活動を続けています。



GPEIのそれぞれの役割

WHO	・戦略担当 ・各国保健省に技術面、運営面サポート
CDC	・ウイルス対策担当
ユニセフ	・予防接種担当
ロータリー	・アドボカシー担当 ・ネットワークを生かし、意識向上、啓発、政府民間への支援働きかけ
ビル&メリнда・ゲイツ財団	・リソース担当、多額の寄付
GAVI	・予防接種率の向上

ポリオフリーへの闘い

ループ①

1978年東京で開催された国際大会でタレム・レヌーブRⅠ会長エレクトは、保健・創設途次・人間性尊重の3-目プログラムを提示。理事会は1980年常定事務議会で決議案を提出採択。

また、3-目プログラムはロータリーの歴史の中で最大のプロジェクトであるとされてきました。麻痺・細菌風ワクチンの開発から始まり、ロータリーのポリオ根絶活動のはじまりへとつながり現在に至っております。



1978-79年度RI会長 クレム・レヌーフ

1979年前半、フィリピンから帰国する飛行機の中で、レヌーフ氏は天然痘の感染に際する確証記事を目にし、ロータリーの新しい「保健、軌道施設、人間性尊重（3R）補助金」を使って他の疾病を根絶できないだろうかと思案しました。

3R補助金は、複数のクラブや地区が共同するロータリープロジェクトを初めて可能とするものでした。

世界的ポリオ根絶活動をロータリーの最優先目標へと押し上げることに貢献しました。

ループ②

1979年9月29日フィリピンのマカティのダバダルーベ・ヒエボ地区にある保健センターで、ボランティアによる児童への経口ポリオワクチン投与されたマニラ都市部でのこの活動は、ロータリアンとフィリピン保健省の代表者が平配。当時のジェームズ・J・ボーマー会長が最初のワクチン接種を子どもに授け、フィリピンのポリオ予防接種活動が開始。これがロータリーの「保健、軌道施設および人間性尊重（3R）補助金」プロジェクトの第1号となりました。

ループ③

(山田 幸 (つね) 氏)

ポリオ根絶のきっかけの役割を果たした、日本人ロータリアンの日本人ロータリアンである山田 幸 (つね) 氏、幸二氏のお二人でございます。

このお二人は命をかけてポリオ根絶という壮大な計画を遂行させるきっかけを作り、その偉大な先駆者が日本人であったことを誇りに思い、特に山田 幸 (つね) さんのお話をさせていただきます。

ロータリーとポリオ

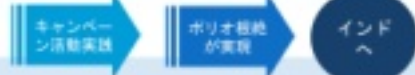
ロータリーが1979年から取り組んでいる「ポリオのない世界の実現」つまり「ポリオの根絶」であり、その実現はまさにその事業を世界に知ってもらうこととなります。

ポールハリスが語られていた「世界はその事業によってロータリーを知るのです」の実現でもあります。



インドポリオ根絶実践へ

インドのニューデリーにポリオ根絶活動（3R）に参加しようと思案したのは、私がガバナー年度（2013-14年）にロータリーの戦略計画、三つの柱の一つの公共イメージと認知度の向上への取組みを取り上げ、ポリオ根絶のキャンペーン活動を各グループで実施いたしました。不可能とまで言われておりましたインドで、ポリオ根絶が実現され、ポリオ発症がゼロになるまで、どのように活動し、尽力されたのか、その現場・実績を知るためにインド視察いたしました。



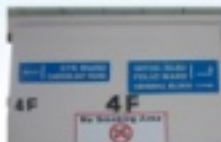
背景

インドではポリオ患者が1985年に15万人を超え、ポリオ根絶活動が軌道に乗った2009年でも世界の患者数の半分以上をインドが占めていました。

「インドでのポリオ根絶は不可能」とまで言われていました。しかし2011年1月13日を最後にインドでのポリオ発症はなく、ついにインドはポリオフリーとなりました。

St. Stephens Hospital

ここは136年の歴史があるデリーで最も古い病院です。この病院にはポリオ病室が2室（男・女）あり、各9つのベッドがポリオ患者に充てられています。国際ロータリーは、医師の派遣、病院の運営に支援をしてきました。



こちらの病院の女性性は24歳ですが、4歳の時にポリオに感染し、過去4回手術を受けています。平均月収が2万5千円のインドの人々にとって治療に支払えるものではありません。ロータリーではその手術費用の半分以上を援助しています。彼女を養う母親の年齢は、治療は難しいとされていたものの、現在は回復に向かっており、近々退院されるとのことでした。（笑顔が印象的でした）夢は、ポリオを完治させ幸せな結婚をすることだと話してくれました。

ポリオプログラム4つの柱



Polio Vaccination At Dakshin Puri Center

翌日、ポリオワクチンの接種場所を視察しました。5歳以下の子どもには6種類のワクチンが必要であり、そのうちのひとつがポリオです。ワクチンや予防接種にかかる費用もロータリーが支援しています。インドでは毎年1月・2月に全国的にポリオワクチン接種を行っており、この地区ではそれに加えて4月・6月・9月にも実施しています。



また、今回の視察で驚いたのは、医師や看護師・さらに看護師をサポートする地域の女性たちが緊密に連携を取り合い、地域の子どもの情報をしっかりと把握している事でした。およそ1億7500万人いる5歳以下の子どもたちすべての予防接種の記録を、地域ごとにノートやパソコンを用いて管理していました。この地域の女性たちの強い連携と献身的な作業がポリオ根絶に大きな力となっていることが、今回の視察で分かりました。



Dehli Midtown health Clinic

また、町の診療所も視察しました。ここは、デリーミッドタウンロータリークラブが運営する診療所です。X線装置、歯科、内科、外科もあり、治療費や薬代はすべて無料です。継続的な検診と日々のリハビリ。そしてポリオに対する正確な情報発信は、こうした町の診療所の大変な役割でもあります。

Akshay Pratishthan School Of Polio

次に、チャリティーからなる私立学校を視察しました。ポリオ根絶支援の最終的な目標は、完治した患者たちを社会復帰させることにあります。ここではそのための職業訓練を行っています。この学校には主にポリオを患った5歳から14歳の子供達が通っています。ポリオ患者の多くは、完治したとしても字が書かず、一般的な知識がないために仕事に就くことが出来ないのが現状です。

25年前、900としてテントから始まったこの学校は、学費は無料で交通費・制服・給食を提供しています。勉強のほかにも様々な職業訓練や、手術後のリハビリもこの学校で行われています。職業訓練には、大工・電気・ハウスキーピング・手芸・パソコン・プログラミング・映画などのメディア・美容師・料理・グラフィック・音楽などがあり、そのうち一つを選択して学ぶことが出来ます。



Akshay Pratishthan School Of Polio

障害のある生徒は治療費も無料です。その他にも車椅子・校なども無料で提供しています。生徒からアプローチがあれば分け隔てなく受け入れ、断るようなことはないそうです。

そのため、この学校ではスラム街に住む子供達も多く通っています。スラム街の子供達の多くは肝炎・麻疹・結核など全く知らないため、すべて最初から教えることになるとのことでした。

Akshay Pratishthan School Of Polio

また、この学校の運営費の半分はロータリーを含むボランティアなどの寄付によってまかなわれていますが、残りの半分は学園長をサポートする方々によりバザーを年に3〜4回開催し、その売り上げを学校に寄付しているそうです。

ロータリークラブでは、職業訓練の場である学校の運営に対しても大きな支援を行っています。



ロータリーの目標

ロータリーは過去40年以上にわたり、ポリオ根絶活動を行ってきました。ポリオを世界からなくするという私たちの目標は今達成まで本当に「あと少し」のところに来ています。

世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）の立ち上げ当初からパートナーとして1979年にフィリピンの子供たちに予防接種を実施したときから始まったこのプログラムを通じて、ポリオ症例を99.9%まで減少させることに貢献してきました。

今日、ポリオがまだ存在する国（常疫国）はアフガニスタンとパキスタンのみとなっています。

ポリオ根絶を今やめてしまうと、30年間のうちに毎年ポリオによって身体まひとなる子どもが50万人になると予測されています。



ポリオ根絶はロータリーが世界の子供達に交わした約束です。私たちはあきらめないで「ポリオのない世界」の実現、ポリオ根絶特別宣言の目標に向け活動が続けていきましょう！



貴重なお話しをありがとうございました。

スマイルボックス 藤岡 博 委員 本日 ¥19,000 累計 ¥173,266-

相澤 光春 様(ふじさわ湘南RC)

本日は例会の卓話にお招きいただきありがとうございます。ポリオについてお話しさせていただきます。

石井 伸二 様(横須賀北RC)

いつもお世話になっています。相澤光春様、今日はよろしくお願いします。

今井 澄江 様(鎌倉中央RC)

こんにちは。今日も楽しみに参りました。どうぞよろしくお願い致します。

根岸 君代 様(平塚北RC)

本日の相澤PGのポリオ卓話楽しみにして参りました。よろしくお願い致します。

中村 辰雄 様(相模原南RC)

約4年ぶりにメークに参りました。また、相澤パストガバナーの卓話聴きに参りました。よろしく。

生駒 秀之 様(綾瀬RC)

本日、例会におじゃまします。本年度はロータリーの友の委員です。よろしくお願いします。

福山 茂 様(相模原グリーンRC)

本日は例会の卓話にお招きいただきありがとうございます。ポリオについてお話しさせていただきます。

入江 公敏 会長、黒坂 毅 幹事

本日は、2013～2014年度ガバナー相澤光春様にお越し頂きました。本日の卓話どうぞよろしくお願い

致します。横須賀北RC石井様、鎌倉中央RC今井様、平塚北RC根岸様、相模原南RC中村様、綾瀬RC生駒様、相模原グリーンRC福山様、よろしくお願い致します。

入江 公敏 君

入会記念のお岩ありがとうございます。

後藤 定毅 君

相澤PGようこそお越しくださいました。地区ホームページでインドでのポリオワクチン授与の記事見ました。本日のお話し楽しみにしています。またポリオチームの皆様もようこそ、クラブが賑やかになりました。楽しんでください。

岸 幸博 君

結婚記念日を祝っていただきありがとうございます。50年になります。

北砂 明彦 君

相澤PGはじめ、地区より多くの会員の皆様、本日はお忙しい中ありがとうございます。誕生祝ありがとうございます。

高橋 清 君、橋本 日吉 君、辻 彰彦 君、野口 宏 君、中村 友彦 君

相澤パストガバナーそして多くの皆様のご出席ありがとうございます。本日はよろしくお願いします。